

# いわき市連携「未来を支える産業人材育成事業」 ～浜通りに届ける復興の風プロジェクト～

採択大学等名

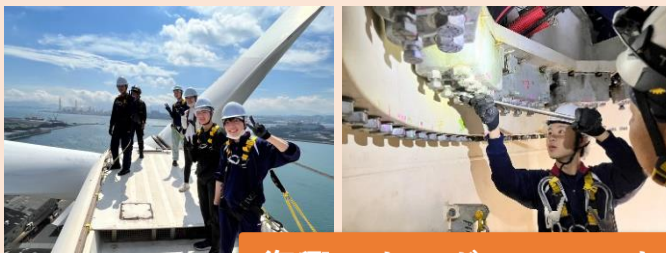
東京大学・福島工業高等専門学校  
(共同申請校)

連携市町村名

いわき市

## 風力インターンシップ

- 福島高専4年生を対象としており、**風車実機を用いた体験型インターンシッププログラムを実施し、風力業界を実際に体験してもらう**ことにより、風力産業への興味関心を高めてもらうことが主な目的。
- 普段触れることのできない風車実機に触れる機会を創出するほか、風力発電産業の**最前線で働く技術者と接する機会を設ける**ことで学生の関心を生み出し、**将来の福島県の風力発電産業を支える人材育成に取り組むという狙い**もある。
- また、これまでの実績としては、**H30年～R5年累計で52名の学生がインターンに参加(令和5年度は9名)**しており、**実際にインターンに参加した学生が風力業界に進む姿も見られている。**



復興・カーボンニュートラルを地域で支える人材育成

## 新たな労働環境の整備

### 超短時間雇用モデルの導入・普及

- 労働意欲はあるものの障がい等の理由により長時間の労働が難しく、雇用機会に恵まれないといった方々を労働力とみなすため、**1日15分からでも労働することができる「超短時間雇用モデル」**をいわき市内で実装している。
- 人口減少にともない労働人口が減少する中で、地域内の潜在的な労働力を活用することを目指して事業に取り組むことで、**雇用事例は着実に増加**しており、これまで**市内で7名の超短時間雇用労働者が生まれている。**



## 福島高専学生による出前授業

- 公民館との連携により、**地域の小学生を対象とした再エネ教育活動の場として、福島高専の学生を中心とした出前授業を実施。**
- 参加した小学生が、新たに再エネの知識を取得できることはもとより、講師役の**学生自身が教える立場になることで、再エネの知識等を習得**することができる。



## 福島高専学生との研究交流

- 福島高専の学生と東京大学飯田特任准教授による教育活動の一環として、**再生可能エネルギーに係る研究交流・勉強会を実施。**
- より専門的な知識や技術的な知見を東大から学ぶことで、**再エネを支えていく研究人材の育成**を行う。



## 浜通り地域への交流人口の拡大

### 地域イベントの混雑緩和に資する実証研究

- 市内イベントにおける混雑緩和策の提案に向け、**いわき花火大会での人流測定実証**を実施するもの。
- 令和5年度からは福島高専の学生も本実証に参画しながら、研究内容の説明や当日の計測等の一部を担うことで、**地域の人材育成や課題解決力の向上にもつながっている。**
- 昨年度までは、入場ゲート等にセンサーを置いて人流計測を行っていたが、今年度は**光の誘導による混雑緩和策の提案を見据えた実証研究**に取り組んだ。

